

平成4年4月27日



買い物競走でハッスルする参加者ら  
(丹波自然運動公園)

## 声援受け競技に汗

府内の精神薄弱者施設が  
精薄者施設 合同運動会で交流

府内の精神薄弱者施設が、つどう「京都愛護合同運動会」が二十六日、府立丹波自然運動公園(丹波町曾根)で開かれ、約千五百人の参加者がリレーや玉入れで汗を流し、仲間同士の交流を深めた。

京都精神薄弱者愛護協会主催(府、京都市、京都新聞社会福祉事業団など)の後援で、毎年開催。今年で二十四回目。府内各地の二十八施設から、入所者や介護者が出場した。入場行進のあと、選手宣誓や歌の合唱を行って競技スタート。春の穏やかな陽気のもと、紅白に分かれて、買い物レースや玉入れ、パン食い競走、綱引きなどに大ハッスル。施設対抗リレーでは、選手らがタスキをつないで力走、応援席から大きな掛け声が飛んだ。最後は全員が手を取り合って、フォークダンスを踊り、友情の輪を広げた。

## 京都新聞

1992年(平成4年)6月22日 月曜日

# 潤いある生活へ

## 全京都障害者 総合スポーツ大会

# 開幕

パラリンピック

## 出場選手を激励

府立 卓球バレーに108チーム  
体育館

第十二回全京都障害者総合スポーツ大会が二十一日、京都市北区の府立体育館で始まり、卓球バレーに出場した地域や学校、養護施設などの選手約二千人が参加した。

午前十時からの開会式で、ごに盛んになっている。選手たちを前に内山茂 今後ともスポーツを通じ、京都障害者スポーツ振興会会長が「昭和五十六年い」とあいさつ。次いで、の国際障害者年をきっかけ 大宮正・京都府副知事、田に始まった大会も十二回を 辺朋之・京都市長らが参加 迎え、障害者スポーツは年 者を激励した。

続いて、長年にわたり障害者スポーツの振興に貢献した芝田徳造前会長に花束が贈られ、一九九二年パラリンピックに出場する京都出身選手四人の激励会などが行われた。

式の後、卓球バレーの競技を開始。これまでで最も多い百八チームが参加して日常の練習で鍛えた技やチームワークを競った。

大会はこのあと、十月まで卓球、水泳、陸上競技、アーチェリーの四競技を行う。

卓球バレーの成績は次の通り。

- ▽一般の部 ①宇治A②中京B③八幡A▽学校の部 ①鳴滝A②呉竹A③東養護▽施設の部 ①うたの②太陽の家B③太陽の家A

花束を贈られる芝田徳造・前京都障害者スポーツ振興会長



第12回全京都障害者総合スポーツ大会 総合開会式、卓球